

拙稿「天皇輔導と大久保利通」(『国史館史学』第二四号)について

勝田 政治

本誌第二四号(二〇二〇年三月刊行)掲載の拙稿「天皇輔導と大久保利通」で、筆者が引用した「内史日録」の一〇月一八日の記事について、次のように追補する。

この記事は拙稿の注(4)で「本論で引用した一〇月一八日の記事は、二〇一八年二月八日の明治維新史学会一二月例会で中川壽之氏が、「明治太政官内閣と右大臣岩倉具視の政治行動」の報告で紹介したものである」(三〇頁)と記したが、それは中川壽之氏が例会で初めて紹介した史料で、征韓論政変研究において新事実を明らかにするものであった。同例会は明治維新史学会論集編集委員会による「準備報告会」であり、中川氏はその新事実に拠り論集執筆者の一人として研究論文を発表する予定であった。

筆者が中川氏に先立って史料を引用し右の拙稿を公表した後、同論集は二〇二〇年一〇月二五日に明治維新史学会編『明治国家形成期の政と官』(明治維新史論集2、有志舎)として刊行された。「内史日録」を含む準備報告に基づいた中川氏の論考が、同書に中川壽之「征韓論政変と岩倉具視」として収録されていることを周知するものがある。